



3-3-3 Kasumigaseki, Chiyoda-ku,
Tokyo, 100-0013 Japan
TEL: +81-3-3593-0139
FAX: +81-3-3593-0138
URL: www.butsuryu.or.jp

News Release

一般社団法人 日本物流団体連合会
Japan Association for Logistics and Transport

令和2年1月31日

令和元年度第5回「海外物流戦略ワーキングチーム会合」を開催

(一社)日本物流団体連合会(会長:渡邊健二)は、1月28日(火)、今年度第五回目となる「海外物流戦略ワーキングチーム会合」を千代田区霞が関の尚友会館ビルで開催した。これは、物流事業の海外進出に関する課題について官民連携して検討する会合で、国土交通省の宮島正悟参事官(国際物流)を始めとする幹部や会員企業から23人が参加した。

会合ではまず、一般財団法人中東協力センター三東尚志審議役より、中東の一大消費市場といわれるサウジアラビアについて、同国の最新情勢と新たな日サ協力の羅針盤となる「日・サウジ・ビジョン2030」の説明とともに、同センターが昨年度に実施した同国における低温物流の実情調査結果が紹介された。サウジアラビアでは、国内物流システムの整備および国民生活の質的向上が社会経済改革の重点目標として掲げられ、食文化の多様化により低温物流需要の増加が期待されるなど、調査の成果が解説された。

次に、国土交通省宮島参事官(国際物流)より、最近の国土交通省の国際物流政策の取組みとして、第16回日ASEAN物流専門家会合並びにミャンマーにおける物流政策対話及びコールドチェーン物流ワークショップの開催結果、日中韓における取組み(日中韓物流大臣会合)、シベリア鉄道の利用促進に向けた取組み、国際物流政策に関する今後のスケジュール等について説明が行われた。

最後に、事務局より、来年度以降の海外物流事情実態調査の対象として挙げた国々の概況や新たな調査テーマ案を説明し、チームメンバーの意見を求めた。メンバーからは様々な意見が上がり、物流業の海外進出に向けた、当連合会の調査事業に関する関心の高さが伺えた。今後、アンケート調査を行い、来年度の調査事業案を固めていく。

本ワーキングチームの活動は、今年度も当連合会の重要な業務と位置づけ、適宜、現地情報や実務に詳しい会員企業や外部専門家の参加を得ながら進めることとし、次回は2月下旬の開催を予定している。

以上

事務局 中川

会合全景



講演する中東協力センター 三束尚志審議役



説明する国土交通省 宮島正悟参事官（国際物流）

